

シンポジウム

食の安全を守る - 食品由来感染症のリスクと制御 -

日時 平成29年
12月8日(金)・9日(土)

会場 日本大学生物資源科学部
211講義室(2号館1階)



●小田急江ノ島線 六会日大前駅より徒歩5分

プログラム

第1日 12月8日(金) 14:30~20:00 会場：211講義室 対象：学生・教職員・一般

14:30-14:35 開会の挨拶

①研究講演：わが国の人獣共通感染症研究の連携推進

研究組織代表：丸山 総一(日本大学 教授)

座長：松本 淳(日本大学 准教授)
鈴木 由紀(日本大学 専任講師)

14:35-15:05 (1) 狂犬病ウイルスの病原性と自然免疫回避
~国際共同研究の一例として~

伊藤 直人(岐阜大学 准教授)

15:05-15:35 (2) SFTSにおける医学と獣医学の連携

高野 愛(山口大学 准教授)

- 休憩 -

15:50-16:20 (3) 宮崎大学の人獣共通感染症制御に向けた教育研究の取り組み
~モデルカリキュラムの開発とグローバル人材育成~

野中 成晃(宮崎大学 教授)

16:20-16:50 (4) 動物集団で維持されている狂犬病の疫学的解明
~ブラジルでのコウモリ疫学調査を中心に~

伊藤 琢也(日本大学 教授)

②ポスタープレゼンテーション

16:50-17:50 東京大学・岐阜大学・山口大学・宮崎大学・日本大学の大学院学生及び若手研究者

③情報交換会

18:00-20:00 本館地下1階カフェテリア

第2日 12月9日(土) 10:00~12:10 会場：211講義室 対象：学生・教職員・一般

10:00-10:05 開会の挨拶

研究組織代表：丸山 総一(日本大学 教授)

④公開シンポジウム：食の安全を守る

座長：遠矢 幸伸(日本大学 教授)
佐藤 雪太(日本大学 教授)

- 食品由来感染症のリスクと制御 -

10:05-10:35 (1) 食品由来感染症：近年の状況

関崎 勉(東京大学 教授)

10:35-11:05 (2) 食品媒介性ウイルス感染症の現状と対策

野田 衛(国立医薬品食品衛生研究所)

11:05-11:35 (3) 近年の食品媒介性細菌感染症の動向

朝倉 宏(国立医薬品食品衛生研究所)

11:35-12:05 (4) 寄生虫性食品由来感染症

杉山 広(国立感染症研究所)

12:05-12:10 閉会の挨拶

伊藤 琢也(日本大学 教授)

撮影：山下修一先生(植物病理学研究室)

主催 日本大学生物資源科学部・動物医科学研究センター
日本大学大学院生物資源科学研究科・獣医学研究科

お問い合わせ 日本大学動物医科学研究センター 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野1866 TEL/FAX 0466-84-3380
e-mail nuverc.brs@nihon-u.ac.jp <http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~nuverc/index.html>

入場無料
申込不要